市の現勢（55年4月末）
人口 63,821人
（男 31,977人）
（女 31,844人）
世帯 18,983世帯
面積 23.51㎢

第189号
55年6月

広報やわた

発行 八幡市役所
八幡市八幡園内75
TEL（075）983—1111
編集 市民部広報課

市民の理念
1 地域社会の主体者として、権利と義務の自覚を深める。
2 生活共同体の一員として、積極的に市政に参加する。
3 新しい社会の創造をめざして、連帯の行動を強める。
4 責任と協調の市民生活を求めて、つねに前進をはかる。

茶業を通じて深まる日中友好

市内の上津屋・岩田などでは、いま特産〝茶〟の製造の真最中ですが、〝日本の製茶作業を学ぼう〟と、五月九日から四十四日間の日程で日本中国農業農民交流協会の招きで、中国茶業青年実習訪日団の一行のうち九名が市内茶農家に泊りこみ、日本の茶の実習労働を行っています。言葉や生活・習慣が違うため最初は互いにとまどいがちだったものの、今では訪日団員も日本の生活と労働にすっかりなれ、茶農家の一員としてうちとけ合い、この実習労働を通じて日中の農民同志、また地域の市民との心の結びつきが深まっています。

新市長に西村氏

開票結果

当選 一三三一七 西村 正男
九〇九六 山村けいじ

投票率57・1%

五月十八日、初の八幡市長選挙が執行され、即日開票の結果、無所属新人の西村正男氏（五一歳）が当選されました。

選挙は五月八日に告示され、西村正男氏と山村けいじ氏が立候補されました。両候補は、今回の市長選挙から開催した公選の立会演説会などを通じて、広く有権者に主義主張を訴えました。

十八日の投票日は、五月晴れの好天気となり、大半の投票区で前回の投票率を上回り、最終の投票率は五七・一〇%になりました。

有権者数三万九千に
前回より六千人増加

当日の有権者数は三万九千六百五人で、前回の五十一年にくらべ男三千八百九十三人、女三千二百四十一人合計六千百三十四人増加しています。有権者のうち、男一万八百八十二人、女一万一千七百三十四人合計二万二千六百十六人が投票され、投票率は、前回より五・〇八%増の五七・一〇%でした。また、無効票は一百三でした。

高い女子の選挙意識

男子にくらべ、女子の投票率は一部の投票区を除いて上回っており、男子の五五・九三%に対し、二・三%増の五八・二三%となっていました。特に、第七投票区（下区地域）の女子の投票率は、八〇・二九%の高率を示しました。

五区（川口地域）が最高の投票率を示す

地域別の投票率をみると、第五投票区（川口地域）の七七・三三%が最高で、以下第十一投票区（戸津地域）の七七・二六%、第七投票区（下区地域）の七五・五二%の順になっています。これに対し、男山地域全体では、前回選挙の三九・〇一%を大幅に上回ったものの四七・一〇%にとどまりました。

西村・新市長 5月27日に初登庁

さる五月十八日の市長選挙で第二代目の八幡市長に選ばれた西村正男新市長は、五月二十七日、初登庁しました。

九時三十分、一般市民をはじめ市民団体や市職員多数に出迎えられ、選挙で日焼けした顔で元気に初登庁した西村市長は、さっそく女子職員などから花束を贈られ市役所玄関前で行われた市民団体主催の歓迎集会に臨みました。この歓迎集会では、市民団体代表、市議会議長、地元府会議員、市職員代表から歓迎の挨拶があり、これに応えて西村市長から「多くの市民の方々のご支援をもとに、具体的施策の実現に向け、清潔と誠実と情熱をもって市政の運営にあたります」という力強い決意をこめた挨拶がありました。

このあと、西村市長は市議会各会派に就任の挨拶をすませ、つづいて市の会部・課長を集め「八幡市がめざす目標と、そのために行うべき施策を審議し実行していくには、職員の一致と協力と、各部門での努力を願いたい」と訓示し、執務に就きました。

投票所別投票結果表

投票区	区域	有権者数	投票者数	投票率
1	1 区	1,920人	1,245人	64.84%
2	2 区	4,452	2,987	67.09
3	3 区（森、北浦等除く）	2,142	1,268	59.20
4	4 区（西山、平野山等除く）	3,700	2,139	57.81
5	5 区	1,120	866	77.32
6	6 区	2,519	1,538	61.06
7	下 区	813	614	75.52
8	中 区	608	451	74.18
9	上 区	635	451	71.02
10	内里区	1,072	792	73.88
11	戸津区	563	435	77.26
12	美濃山区	355	265	74.65
13	3区（長町）	190	79	41.58
14	竹園香呂区・1区の一部	4,597	2,096	45.59
15	石城弓岡区・吉井松里区・金振区	5,684	2,689	47.31
16	男山C地区・中央センター・泉	2,172	946	43.55
17	男山D、E地区・美桜・指月・長沢	4,011	2,023	50.44
18	4 区（西山、平野山等）	1,603	882	55.02
19	3 区（森、北浦等）	1,449	850	58.66
計		39,605	22,616	57.10

田園文化都市をめざして

八幡市長 西村 正男

このたびの市長選挙にあたり市民のみなさんのご推挙をいただいて、これからの四年間市政を担当させていただくことになりました。

かえりみますと、前市長の山中さんが初めて町長に就任されたのは昭和三十一年のことでしたが、当時の八幡町は、元の八幡町・都々城村・有智郷村の三ケ町村が合併した直後で、〝新しい町〟として、一年でも早く、当時の言葉でいえば、〝町としての一体性を確保すること〟——つまり寄合世帯の状態をなくして、ひとつにまとまった町をつくり上げることが当面の課題でした。そして予算規模の一割をこえる大きな赤字を解消することも緊急の課題でした。

それから二十四年の歳月を経たわけですが、その間に、私たちの八幡町は、これらの課題を解決し、その上に立って、〝心のかよう福祉のまち〟として成長をつづけてきました。そして、人口の急増という状況のなかで市制を施行し、こんどは〝新しい市〟として、その第一歩を踏み出すことになったわけです。

現在の八幡市には、ここに古くからお住まいの市民のみなさんと、この地を選んで移り住んでこられた新しい市民のみなさんが、ひとつの市という区域のなかに、いっしょに日々の暮らしをいとなんでいます。そして、できるだけ早く、いまの言葉でいえば、〝成熟したコミュニティを形成すること〟——つまり、たがいにしっかりとしたきずなに結ばれた〝市〟という生活共同体をつくり上げることが大きな課題となっています。

この大切な時期に、市長として、市政を担当させていただくことについて、改めてその責任の重大さを痛感している次第です。

私は、八幡市の将来像は、これを要約していえば、〝田園文化都市〟という言葉で表現できると考えています。

〝田園〟は、農業生産の場であると同時に、豊かな自然環境を持っています。生活の利便には欠けますが、しかし、そこには、古い歴史につちかわれた人々のつながりの深さ、人の心のあたたかさがあります。

〝都市〟は、住居や商工業の場であると同時に、利便な生活に恵まれています。人間の疎外や環境の破壊という難はあるものの、そこには近代的な職場からもたらされた優れた知識の集積や新しい文化の発達があります。

つまり、田園と都市は、本来性質の異なるものですが、この異質のものを、市という組織のなかでうまく結びつけることによって、たがいに足りないものを補い合い、たがいに持つものを分け合って、たがいを高め合うことができるわけです。

都市環境の面でも、福祉や教育文化の面でも、また人々のふれ合いの面でも、このことは大きな意味を持っていると考えます。そして、まだ若い八幡市ではそれが可能であり、そこに〝住みよい八幡市〟の未来があると考えています。

市民憲章に示されている〝つくる場 すまいの場 まなぶ場 いこいの場をととのえる〟という目標にそって、農業や商工業の振興、生活環境の整備や都市施設の充実、教育と文化の向上、スポーツやレクレーションの場の確保など、優れた機能を持つ田園文化都市をつくるために努力したいと存じます。

そして、何よりも人権の重んじられる、人間が尊重される、差別と不平等のない社会をめざして進んでまいりたいと念じています。

取組まねばならぬ課題や事業は数多くあって、しかも多難に満ちていますが、これにくじけることなく、緊急を要するものから着実に仕事を進め、ひとつひとつ、課題の解決をはかり、事業の実現を期していきたいと決意しています。

至らぬ私ですが、ふるさとである八幡市のために全身を投げうってがんばりぬくことをお誓いし、市民のみなさんのお力添えを心からお願いいたしまして、就任のごあいさつといたします。

家庭婦人で初心者に バレーボール教室開く

バレーボール教室を開催します。日ごろの運動不足を解消するために、あなたも参加してみませんか。次の要領で行いますので、希望される方は、はがきに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、市役所教育委員会社会教育課（住所—八幡市八幡園内75）まで申込んでください。

参加資格 既婚の家庭婦人で初心者に限る。
募集人員 30名
練習日時 毎月第2日曜日・午後1時30分～4時30分
練習場所 八幡第四小学校体育館

心配ごと相談 ——◎ ◎—— 法律相談

市では、毎月心配ごと相談を行っています。また、心配ごと相談のうち法律的な問題については、弁護士と直接相談できます。心配ごと相談は、当日市役所へ来ていただいて結構ですが、法律相談を希望される方は、あらかじめ市役所広報課（☎九八三—一二一一内線一〇〇）まで申込んでください。申込者が十名になりますと、受付を締切ります。いずれの相談も無料です。相談日は次のとおりですが、六月は法律扶助協会の協力で、十三日（金）にも法律相談を行いますのでご利用ください。

☆心配ごと相談
毎月10日・25日（市役所）、第3土曜日（南ケ丘陸保館）

☆法律相談
6月は十三日と二十六日の二回（市役所）

さつき展

八老連の盆栽部会

庁舎ロビーは市の花でいっぱい

お年寄りのみなさんが日ごろ丹精こめて育てた市の花、「さつき展」が五月二十二日から二十四日までの三日間、市役所二階ロビーで行われました。同展は、老人クラブ連合会盆栽部会（谷村和平会長）と花いっぱい実行委員会（水谷正三郎部長）が毎年行っているもので今年で十回目。また恒例となったデサガオの苗のプレゼントも行われ、一千五百本のアサガオが市民に引きとられていきました。

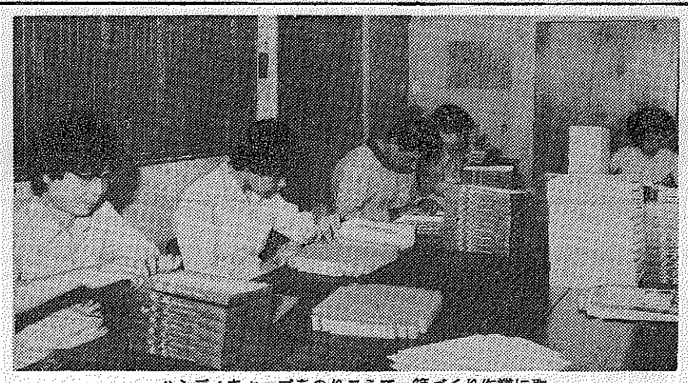
出展された八十九点のさつきは日本さつき協会会員の松村繁氏によって審査され、次の方々が入選されました。（敬称略）

○市長特賞　大西嘉一郎（谷田北ノ口）　○努力賞　符川政勝（八幡女郎花）　○入賞　大南米吉（八幡南出）・吉川アキ（戸建）・今村シスエ（下奈良）・松本四郎三郎（下奈良）・吉川忠吉（八幡長谷）・沢村信一（八幡長谷）・長村トミ（内里）　○盆栽部長賞　石井正三（八幡長田）

心身障害者の社会参加の拠点に

共同作業所オープン

市では、心身障害者（児）が仕事を通じて社会に参加できる道を開けるため、「共同作業所」を四月二十七日に開設しました。



ハンディキャップをのりこえて、箱づくり作業に取り組むみなさん（共同作業所で）

共同作業所は、八幡清水井の旧母子健康センター（木造建て、二百六十三・二平方メートル）を今年三月から改修費五百四十九万円をかけて屋根の全面葺かえや室内を改修したもので、作業室二、プレイルーム、調理室、洗たく室各一、そして手すり付のトイレがあります。

市では障害児をもつ親で組織する「手をつなぐ親の会」（中村敏郎会長、百五十人）に同作業所を無償で貸与、現在同会によって運営が行われています。

この作業所で指導にあたるのは福島県の精薄施設で三年間、指導を行って多くの経験を持つ小川輝芳さん（二十九歳＝八幡四〇）で、当面の作業として、菓子箱の組み立て作業が現在六所している十八歳から三十五歳の五人の方々によって行われています。このほか男山A地区自治会の協力による古新聞の回収・整理のほか、空ビン空かんの回収や製果生産組合の協力を得て、ナンにかける袋づくりを行う予定です。

市では、この共同作業所を自立更生、社会参加の拠点として幅広く活用するため、同作業所に入所する方を対象に、市と所で一人につき三万六千円を補助するとともに入所者の受付（電話＝電話九八三―一一一一）を行っています。

保健婦コーナー

低血圧者の生活

夏と冬の年二回の市民健康相談のなかで、高血圧の方について低血圧の疑いのある人が多い――という結果がでています。

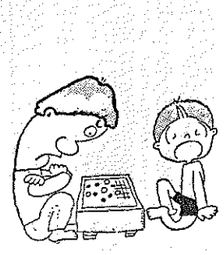
この低血圧の疑いのある人は、昨年八月の相談では七十二人（十三・四％）、今年一月の相談で二十一人（二・三％）あり、夏になると血圧が下がることから、こういう結果になっています。それでは、「低血圧」というのはどういう状態をいうのでしょうか。

低血圧とは…

最高血圧が百㎜以下の場合を低血圧といい、原因には何かの病気で起るものと遺伝的体質的なものの二つがありますが病気が原因となっている場合は、早くその病気を治すことが大切です。

体質的なものの症状には、疲れやすい、休がだるい、寝起きが悪い（夜はなかなか寝つかれない）午前中は元気がなくて夕方になると元気がでてくる、手足が冷えるなどの症状を訴える人が多いようです。また、太っている人よりもやせている人や腎下垂、貧血症状を合わせもつ人、若い女性などに多くみられるようです。

市民健康相談のなかでも、疲れやすいと訴える人が二番多く、次いで立ちくらみ、朝が起きにくいといわれています。



快適にすごす工夫を

それでは、血圧が低いといわれた人は、次のようなことに注意をはらうことが大切です。

◎衣服の工夫

冷え症、寒がりの人が多いことから、衣類の調節をして体を冷やさないように心がけることが大切です。

◎食べ物の工夫

▽好き嫌いをしないで、良質のたんぱく質やビタミンを含んだ食品や緑黄色野菜をバランスよく食べましょう。良質のたんぱく質を含んでいるものには、白身の魚、脂の少ない肉やカキ、アサリ、シジミ等の貝類、チーズ、卵、納豆、高野豆腐などがあります。

また日米を胚芽米に変えてみるのもよいでしょう。コンブ、ワカメ、ヒジキ等の海草類は血圧を下げる食品といわれていますが、血圧の低い人にも血圧を正常に調整する作用もあるといわれていますので、お勧めできるでしょう。

コーヒー、紅茶、日本茶も適当にとることが良く、また少量のアルコール類も血液の循環をよくし熟睡できる働きがあり、これらも適当に飲むのが良いでしょう。

◎適当な運動を

起床、就寝、食事等毎日規則正しい生活を送ることが大切です。

その生活のなかで、自分に合った運動を取り入れてみてはどうでしょう。散歩、軽い体操、マラソンなどを根気よく続けてみるのもよい方法です。また乾布まさつも効果があるといわれています。

◎精神的にいらいら禁物

精神的に安定した生活を送るよう心がけることが大切です。無理をせず気楽な毎日を送りましょう。

▽貧血と低血圧の違い

貧血は血液中の赤血球・血色素の量が少ないことに対して、低血圧は血液そのものは多く正常ですが血管中の血液の圧力が弱いことをいいます。

栄養士コーナー

からだと塩分

塩分のとりすぎ

あなたは塩分をとりすぎてはいませんか。塩分のとりすぎが、脳卒中や心臓病などを招くことはよく知られています。

私たち日本人は、昔に比べると塩辛い漬物や佃煮などをたくさん食べなくなりましたが、またまだ塩分をとりすぎているようです。なぜ塩分をとりすぎるのか、塩分を減らすには食生活をどのように工夫すればよいのかを考えてみましょう。

一日の食塩摂取量は

現在、日本人は一日平均十五～二十㌘の食塩をとっています。たり合わせです。これでは栄養のかたより、糖質と塩分のとりすぎが目立ちます。

昨年厚生省は〝塩分は一日平均十㌘以下が望ましい〟と打ち出し、WHO（世界保健機構）は四～六㌘がよいのでは――と御告しています。

アメリカや西ドイツでは概算量を四～五㌘に減らそうという方向に向っていますが、塩分の多い食事に慣れている日本人が急にこれを実行するのは大変むずかしいことです。

1.飯と塩

日本人はなぜ塩をとりすぎるのでしょうか。これは暖かい飯と塩味がよく合うのが主な原因でしょう。たくさんご飯を食べる人は一般的に食塩をとりすぎるようです。その一例が漬物や塩辛とみそ汁だけでご飯を食べるという取り合わせです。これでは栄養のかたより、糖質と塩分のとりすぎが目立ちます。

2.塩はいらないのか

高血圧や心臓病にとって食塩は大敵ですが、食塩の成分であるナトリウムやクロームは私たちの体をつくっている大切な栄養素の一つです。ただ、そんなに多く必要とせず、一日三㌘の食塩があればよいと考えられています。

主成分であるグルタミン酸ナトリウムなどのナトリウムは、食塩と同じ働きをします。また、化学調味料は味覚をにぶらせるともいわれ、とりすぎると食欲中枢を麻ひさせ、肥満につながるともいわれています。食塩を減らし、代りに化学調味料を――というのではなかなかいかないわけです。

長年の食習慣をいきなり変えることは難しく、根気のいることです。成人病の予防のためにも、元気な方も塩分のとりすぎに注意しましょう。

3.塩分一㌘当りの食品とは

▼食塩小さじ五分の一杯　▼しょうゆ小さじ一杯　▼甘みそ大さじ一杯　▼辛みそ大さじ三分の二杯　▼梅干し小一個　▼たくあん二切　▼のり佃煮大さじ二分の一杯　▼たらこ四分の一腹　▼塩辛大さじ一杯　▼ちくわ三分の一個

ことしの税制改正

税制改正により、各種所得控除の引き上げや税率区分、電気・ガス税の改正などが行われました。その主なものは次のとおりです。

【市民税の改正】 個人市民税の各種所得控除額および税率区分、均等割額が下の表のように改正されました。

【電気・ガス税の改正】 電気およびガス税は、料金と合わせて納付していただいていますが、その免税点が電気税では五月の使用分から月額三千六百円（改正前は二千四百円）に、またガス税では六月の使用分から月額一万円（改正前は七千円）にそれぞれ引き上げられました。

税率区分の改正

税率	改正前	改正後
100分の2	30万円以下の金額	30万円以下の金額
〃 3	30万円をこえる金額	30万円をこえる金額
〃 4	50万円 〃	45万円 〃
〃 5	80万円 〃	70万円 〃
〃 6	110万円 〃	100万円 〃
〃 7	150万円 〃	130万円 〃
〃 8	250万円 〃	230万円 〃
〃 9	400万円 〃	370万円 〃
〃 10	600万円 〃	570万円 〃
〃 11	1,000万円 〃	950万円 〃
〃 12	2,000万円 〃	1,900万円 〃
〃 13	3,000万円 〃	2,900万円 〃
〃 14	5,000万円 〃	4,900万円 〃

所得控除額の改正

控除等の種類		改正前	改正後
基礎控除		万円 21	万円 22
配偶者控除		21	22
扶養控除	一般の場合	20	22
	同居している自己等の直系尊属である老人	21	26
	上記以外の老人	21	23
障害者控除	一般の場合	19	21
	特別障害者の場合	21	23
老年者・寡婦・勤労学生の場合		19	21

均等割額の改正

	改正前	改正後
市民税	1,200円	1,500円
府民税	300円	500円

新しい名所に

ドーム型鳥舎

オープンが待ちわびられていた鳥舎が男山桜のさくら公園に完成しました。

この鳥舎は昨年の国際児童年の記念事業の一つとして建設したもので、高さ八・五㍍、直径十五㍍のドーム型鳥舎。五月五日の子どもの日にオンドリ、マガモ、ハクチョウ、キンケイ、オナガキジなど約七十羽の鳥が鳥舎に放ち、その日以来、親子づれで訪れる人や園外保育の場として取り入れている近くの幼稚園や保育園からの見物者などで毎日にぎわっています。

金網ごしに鳥舎をのぞき込む子どもたちは「ハクチョウさんがいるよ、あれはカモさんだ」と水面をスイスイと泳ぎ回わったり、飛び回ったりする鳥たちを目前にして大喜こび。

親子づれで鳥舎を見物にこられたある方は、「矢われゆく自然の中で多くの鳥たちを見せることで子どもたちの夢を大きくふくらませてやれることができます」と話しておられました。

緑色に塗られた大きなドーム鳥舎は、もうすっかり地域の新しい名所になったようです。

家庭児童相談室を開設しました

子どもが成長する過程で困りごとや心配ごとをかかえている両親の悩みを早期に解決するため、市では、家庭相談員が二両親と一緒に考え、相談できる場、「家庭児童相談室」を開設しました。もし、子ども（十八歳未満）のことで心配ごとや困りごとがあれば、どんなことでもお気軽にご相談ください。相談の内容、個人の秘密は固く守ります。相談を希望される方は、あらかじめ施設課へお申し込みください。電話、手紙での受付もいたします。

相談について　月～金曜日の午前十時から午後四時まで（祝日・年末年始を除く）。電話での申し込みは施設課（九八三―一一一一）へどうぞ。

雨期に備えて

水防訓練に汗

雨期の河川増水に備えて、市消防本部では、五月二十三日、市役所事業部と合同して水防訓練を行いました。

川口の木津川左岸堤防で行われた同訓練は、「台風の接近で木津川の水位が上がり、堤防から漏水している――」との想定で総勢六十五人が参加。

堤防の上に土のうを荷段か積み重ね、漏水を防止する積土のう工法、川裏の漏水をせき上げて透水圧力を弱めるとともに漏水力所の拡大を防ぐ月の輪工法、河川側の反対の り面に杭を打ちならべ、中詰めにした土のう を縫う杭打ち積み土のう工法や、河川側のの り面の崩壊と透水を防止するムシロ張工法などに汗を流しました。

これらの水防訓練は、一分一秒を争う作業であることや、今年の雨期は例年に比べて長いだろうと予想されていることもあって訓練も熱の入ったものでした。

行政相談で功績

松本氏に表彰状

市には、国・府などが行う事務、仕事について納得のいかないことや困りごとについて相談をお聞きし解決するため、行政監察局から委嘱を受けた行政相談委員が活躍されています。

その行政相談委員の松本充子氏が、五月二十日、行政相談委員全体会議で京都行政監察局長から表彰されました。今回の表彰は松本氏の日ごろの行政相談活動の功績によるものです。

◇　◇　◇

国・府などの仕事でお困りのことがあれば、行政相談委員までお気軽にご相談ください。

松本充子氏　男山石城二・B三二―三〇六　☎九八二―二六六六

暖かい心

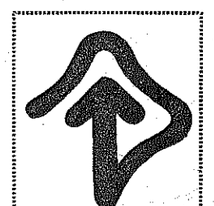
五月十九日、本市にお住いの匿名の方から西村正男市長に宛て〝八幡市の福祉に役立ててください〟と三千円が届けられました。市では、この浄財を福祉基金に積み立て、福祉向上に役立てたいと思います。ありがとうございました。

広めよう、耳のシンボルマーク

耳の不自由な方に

耳の不自由な方（ろう者、難聴者、中途失聴者）が、行政機関や民間サービス事業所（銀行、病院、郵便局）などで順番を待っていると、呼び出しがわからないために順番が後まわしになったりして不便が多いと思います。

こんな不便をなくすため、「耳のシンボルマーク」ができました。このマークのシールを受付票・カルテ・診察券・保険証・預金通帳・身障者手帳などに貼っておき、手で合図をしてもらうというしくみです。



シールのほかにネームプレートもあり、自分の名前を書いて胸の目だつところへつけておけば、病院、銀行、官公庁に出向いたとき、大勢待っていてもすぐにわかります。

（シールの使い方）

病院では……初めて診察を受けるとき診察券やカルテに貼ってもらってください。

銀行では……窓口で預金通帳の表紙にシールを貼って提出し、預入票や払出し票にもシールを貼って提出しましょう。

郵便局では……福祉年金証書や貯金通帳の表紙に貼ってください。

市役所では……戸籍・住民票・印鑑証明の申請用紙に貼ってください。

（シール・ネームプレートの交付） シール・ネームプレートの必要な方は、市社会福祉協議会で取り扱っています。身体障害者手帳を提示のうえ、申し込んでください。

◎お問い合わせ　八幡市社会福祉協議会　☎九八三―一一一一内線二九二

六月三十日は特例納付の締切日

国民年金

国民年金の特例納付が六月三十日で締切られます。あなたの年金額は大丈夫でしょうか。

国民年金に加入しなければならないのに加入していなかったり、保険料を長い間納め忘れていたために老齢年金が受けられなくなっているような人は、この特例納付を利用して、過去の納め忘れの期間をうめ、年金を受ける資格を確保しましょう。六月三十日は、将来年金を受けられるか、受けられないかの最後の分かれ道です。

お知らせコーナー

母子家庭に奨学金を支給します

府では、母子家庭の暮らしを守り、子どもの健やかな成長を願って次のとおり母子家庭に奨学金を支給しています。該当する方は、福祉課に備え付けの用紙で申請してください。

（支給対象者）

京都府下（京都市区域を除く）に住所をおく母子家庭の児童および生徒。

（支給額）

幼児……一人年額六千円
小学生……一人年額一万二千円
中学生……一人年額一万四千円
高校生……一人年額三万六千円

◎お問い合わせ　福祉課　☎九八三―一一一一内線三七

目の不自由な方にあなたの力を

点訳奉仕員養成講座生を募集

昨年に引き続き、京都府盲人協会八幡支部では、点字サークルおよび市と協議し、次の要領で点訳奉仕員養成講座を開講することになりました。

この講座は、新聞や雑誌などの活字を点字にして、視覚障害者の方々に情報の灯をともそうというもので点字器の使い方や簡単な点字について講義が行われます。

▽講座開講期間　昭和五十五年七月十日から十二月二十五日まで

▽日時　第二・第四木曜日の月三回、時間は午後一時三十分から四時まで（※月一回の受講でもかまいません）

▽講座会場　市役所四階会議室

▽申し込み　受講希望の方は、六月十日から六月三十日までの間に、府盲人協会八幡支部（上田竹田支部長＝男山宮井一〇一六電話九八一―二三三二）または福祉課（電話九八三―一一一一内線三二九）へお申し込みください。

文芸の窓

逃げる子の　顔にまだらの　天花粉　家村あや子

あざやかに　櫂のさばきや　岩つつじ　石川　初子

水稲の　薄茶をともに　昭乗と　中村　幸子

八幡市俳句教室から

経済的な事情で特例納付保険料を納めるのが困難な方については、金融機関の協力による「国民年金特例納付金融資」や京都府の「世帯更生資金貸付」等が用意されています。

◎お問い合わせ　保険年金課　☎九八三―一一一一　内線三五

母子家庭に奨学金を支給します

府では、母子家庭の暮らしを守り、子どもの健やかな成長を願って次のとおり母子家庭に奨学金を支給しています。該当する方は、福祉課に備え付けの用紙で申請してください。

（支給対象者）

京都府下（京都市区域を除く）に住所をおく母子家庭の児童および生徒。

（支給額）

幼児……一人年額六千円
小学生……一人年額一万二千円
中学生……一人年額一万四千円
高校生……一人年額三万六千円

◎お問い合わせ　福祉課　☎九八三―一一一一内線三七

おめでとうございます

出生

昭和55年3月届出分

区	本人	届出人
二区	佐藤 寿花	正博
石城弓岡	高木 友希	基文
男山地区	大貫 丸川 智史	久史
吉井松里	松田 隼人	恵三
竹園香呂	中村 友彦	昭雄
二区	笠 良介	慶近
男山地区	池田 直幸	直広
竹園香呂	和田 達矢	忠泰
六区	松宮 靖宗	二三男
男山地区	中嶋 正博	正敏
石城弓岡	押目 幸子	幸雄
竹園香呂	永守 美雪	寛彦
三区	中山 敦司	淳爾
竹園香呂	木田 和	猛
石城弓岡	鍵内 崇将	久視
男山地区	久保田 文乃	吉次
竹園香呂	村田 健良	宏年
男山地区	笹本 文将	竜也
二区	河上 良	高志
男山地区	青柳絵里子	節朗
二区	吉田 紀彦	義男
三区	尾島 都子	文行
石城弓岡	片山 剛代	明
六区	男山地区	和道
男山地区	花田 康弘	登
三区	田村 愛	豊
竹園香呂	岡山 優穂	國二郎
男山地区	下定 隆弘	雅弘
男山地区	中久保明子	丈夫
二区	渡辺 雅行	高男
一区	山田美智子	一郎
男山地区	切 都	悟
下区	森 理悦	広明
男山地区	芦田 亮道	祐広
五区	麻殖生茂樹	豊
戸津区	藤本 剛之	治郎
内里区	丸山 明宣	雲雄
二区	工藤 晃一	彰
二区	川中 佳子	一成
男山地区	軍司 真実	学
吉井松里	神原 優希	聡
竹園香呂	藤田 聡	博
石城弓岡	稲田 雄樹	薫
四区	長谷川 潤	巌昭
二区	小谷 祐史	秀志
男山地区	山本 耕平	二郎
三区	井上方美衣	盛雄
二区	林 優香	勝治
石城弓岡	里山 勝	登
竹園香呂	浅岡 啓之	幸司
上区	辻元 秀幸	勝則
男山地区	高橋 弘毅	弘
三区	石見 樹也	守
内里区	南本 良嗣	義夫
戸津区	柏本久美子	義夫
内里区	藤分 雅子	寿久男
二区	野村 拓史	勇
六区	森 直子	満美
二区	井上久美代	幸二

昭和55年4月届出分

区	本人	届出人
二区	葛西 未来	多子
男山地区	大河原鐘子	勝美
吉井松里	阿部 司	直樹
男山地区	興稲 佳穂	裕幸
石城弓岡	外賀 絵理	正
男山地区	山本 陽一	修造
二区	飯塚 弘美	三雄
石城弓岡	竜田 倫花	治彦
男山地区	本庄 真悟	昭行
金振区	高橋 雅人	義人
三区	堤 弘	泉
四区	森田 千鶴	敬一
男山地区	桑原 尚徳	徹
竹園香呂	杉本小百合	真一
四本	みき	建二
三区	植本 照名	益男
男山地区	藤井 寛子	建
石城弓岡	槙垣 健介	良徳
二区	水鳴 高志	敏明
竹園香呂	加賀城いづみ	弘美
二区	蔵原 一隆	隆
石城弓岡	松田紗智子	英美
男山地区	正田 瑞穂	与一
竹園香呂	吉田 恵美	和行
三区	藤原 玲奈	敦子
一区	村田 和代	浩
四区	谷口 長	徹男
三区	岩澤 幸子	勇
一区	落合 摩子	隆志
二区	堀 信行	正士
石城弓岡	高野 春菜	功
上区	繁柴 生子	巧
二区	岡本 智	伸男
四区	古藤田利子	憲二
二区	辻本 智宏	茂美
男山地区	藤本 幹人	一幸
四区	長尾 奈次	陽
男山地区	勝義	
石城弓岡	山下あゆみ	麟志
三区	八木橋香織	務
石城弓岡	山本 秀俊	登
男山地区	大島 彰央	泰弘
三区	西田 憲太	照雄
戸津区	藤本 理恵	厚司
三区	楠川 喬	清
男山地区	小松 愛	省三
石城弓岡	植村 西之	忠彦
二区	工藤 晃一	二郎
三区	川城 直子	正也
二区	山本 秀俊	良郎
石城弓岡	大島 彰央	純一郎
三区	西田 憲太	治郎
戸津区	藤本 理恵	元
竹園香呂	角 貴広	純
石城弓岡	河野 靖寿	
竹園香呂	中根佳代子	
男山地区	牧野 淳	
男山地区	宮脇 久司	
石城弓岡	湯浅 哲也	
男山地区	水巻 千紘	
竹園香呂	青野 吉朗	
男山地区	出道 敦子	
四区	大塩 隆文	
二区	明慶 好史	
五区	奥園めぐみ	

昭和55年3月届出分

区	本人	届出人
六区	笹井田美香	秀美
四区	高木 千布	博正
一区	小林 和樹	英明
二区	長崎 洋一	久史
三区	井上真理子	恵三
四区	佐藤 克寿	昭雄
西田	考志	博
六区	戸津区	慶近
二区	角田 秀興	直広
吉井松里	石原 雅恵	忠泰
石城弓岡	中島 咲子	二三男
森	大樹	正敏
竹園香呂	羽坂 直子	寛彦
竹園香呂	下村 純平	淳爾
六区	大道 綾	猛
男山地区	三輪 春奈	久視
三区	佐藤あづみ	吉次
石城弓岡	茶谷日美子	宏年
三区	竹内 弘美	竜也
四区	檜本 里美	高志
一区	宮本あすか	節朗
竹園香呂	嘉村西紀子	義男
男山地区	三宅 栄	文行
石城弓岡	杉田 亜裕	明
男山地区	木畑 彩子	和道
石城弓岡	古川 雄宣	登
一区	松並 ひさ	豊
石城弓岡	片桐 由美	聡
男山地区	正一 雅人	丈夫
三区	川添 亜弥	高男
男山地区	多胡 美希	一郎
竹園香呂	福島 真理	悟
男山地区	江尻 杏奈	広明
竹園香呂	土方 真二	祐広
石城弓岡	横田加奈子	豊
男山地区	古賀 正智	治郎
竹園香呂	松永佳代子	雲雄
三区	橋口 弘幸	彰
日野友美子	勝則	一成
男山地区	津留 弥生	学
石城弓岡	矢吹 雅春	聡
三区	藤田 紘子	聡昭
竹園香呂	福田 一	秀志
男山地区	小森三枝子	二郎
竹園香呂	河原崎純子	薫
男山地区	増尾 純子	博
竹園香呂	白井 英俊	薫
男山地区	岡本 純子	巌昭
四区	小川 清一	寛
竹園香呂	山崎志津子	杏奈
六区	森川敏美津	真光
男山地区	中村 生美	昭明
下区	石城弓岡	浩
石城弓岡	斉藤 修	隆
金振区	坂井 信幸	昌美
男山地区	丹羽真田美	作蔵
石城弓岡	原田 清美	五区
男山地区	河野 由美	伊一
中村早智子	男山地区	石城弓岡
三区	古村 淳	石城弓岡
男山地区	伊佐真田美	石城弓岡
男山地区	姫木 茂之	石城弓岡
男山地区	森 操	石城弓岡
男山地区	橋本 一俊	石城弓岡
男山地区	森田 純一	石城弓岡
竹園香呂	中野 正江	石城弓岡
二区	中村 優子	石城弓岡
六区	伊藤 順一	石城弓岡
三区	森田 紫子	石城弓岡
四区	岡藤 巨治	石城弓岡
竹園香呂	中村 勉	石城弓岡
男山地区	大野ひとみ	石城弓岡
永川 裕子	石城弓岡	石城弓岡
岩崎美代子	石城弓岡	石城弓岡
二区	奥野 修	石城弓岡
西岡	奎介	石城弓岡
川口 賢二	石城弓岡	石城弓岡
宮本 豊子	石城弓岡	石城弓岡
岸枝 辰巳	石城弓岡	石城弓岡
剱田紀子	石城弓岡	石城弓岡
岸川真理子	石城弓岡	石城弓岡
大石加乃美	石城弓岡	石城弓岡
岸川 幸夫	石城弓岡	石城弓岡
古都 伸子	石城弓岡	石城弓岡

結婚

昭和55年4月届出分

区	本人	届出人
男山地区	井上哲次郎	川口 恒子
男山地区	広瀬 悦子	広瀬 悦子
竹園香呂	池田 正文	卓己
石城弓岡	松尾真樹子	伊東 昌行
男山地区	岩田 済	常松 和子
吉井松里	宮脇 昭典	水口 悦子
石城弓岡	今井 祥夫	南繁麻利子
湯浅	新次	道下 操
三区	迫田 幾信	藤原 康子
神原	紳	村上規美子
男山地区	寺本 友治	増本 景子
男山地区	中村 入	渡辺久美子
石城弓岡	尾崎 昇	谷口 治子
石城弓岡	将美	仲 加南子
男山地区	竹内 雅弘	中 孝子
男山地区	下口	市場
男山地区	高村 茂雄	牛尾 朝子
男山地区	青沢 一志	横田真佐子
竹園香呂	嬢 伸一	廣
男山地区	松永 昌子	美津子
石城弓岡	白井	廣
男山地区	里山 勝	登
竹園香呂	浅岡	幸司
上区	辻元 秀幸	勝則
男山地区	高橋 弘毅	弘
三区	石見 樹也	守
内里区	南本 良嗣	義夫
戸津区	柏本久美子	義夫
内里区	藤分 雅子	寿久男
二区	野村 拓史	勇
六区	森 直子	満美
二区	井上久美代	幸二

昭和55年4月届出分

区	本人	届出人
二区	佐藤 寿花	正博
四区	中澤 豊二	秦輔
下区	橋本 幸子	和夫
石城弓岡	岡村 美和	秀樹
男山地区	野口恵理	良男
中村	周平	憲久
出口	真衣	義彦
竹腰久美子	和彦	
三区	勝田紀子	齊男
竹園香呂	長賀我部織	均
一区	前田 諫子	恵文
竹園香呂	谷内健太郎	俊雄
二区	山下 哲史	君平
男山地区	熊谷 暁人	武志
西	安斗夢	歩
三区	小能なつみ	広美
金振区	加藤 亮輔	裕之
男山地区	野田 直樹	正昭
内里区	鈴木 良和	禎男
四区	吉田 直樹	治
石城弓岡	伊藤 昌子	隆文
竹園香呂	松村めぐみ	増三
三区	白波瀬日香	雅寧
男山地区	岡村 良子	敬二
男山地区	橋本 賀夕	強
石城弓岡	山田 寧子	政光
奚濃山区	片桐 陽子	章
男山地区	灘 晋也	博敏
四区	千々和正裕	史郎
中区	山本 哲也	廣弘
竹園香呂	那須 大希	文博
三区	松山 季子	隆行
四区	吉田 敏	幸典
石城弓岡	高橋かれん	憲行
五区	伊勢田和志	竹志
男山地区	岩野 園奈	三郎
石城弓岡	山国 千織	六区
二区	西岡 清和	雄一
三区	上杉 牧子	四区
男山地区	長田 知子	男山地区
下区	服部 恵子	内里区
一区	増田 英	戸津区
二区	後藤めぐみ	五区
三区	柏本 秀樹	麻殖生
四区	高田真友美	藤本
石城弓岡	浜田 幸生	丸山
石城弓岡	石塚 柏矢	内里区
石城弓岡	長井 悟	工藤
竹園香呂	東出 亘	川中
男山地区	田中 均	男山地区
金振区	村松 博行	軍司
男山地区	鳥越 敦子	吉井松里
竹園香呂	徳永 静子	神原
二区	家村よし子	竹園香呂
二区	木村美智子	藤田
佐藤	修	稲田
男山地区	梅乃	長谷川
石城弓岡	梅谷 俊子	小谷
石城弓岡	福田 大輔	山本
石城弓岡	豊田 慎一	男山地区
金振区	藤田 郁恵	竹園香呂
男山地区	尾道 美弥	石城弓岡
金振区	山内 孝敏	石城弓岡
石城弓岡	厚子 文沙	四区

昭和55年4月届出分

区	本人	届出人
男山地区	佐藤	正
吉井松里	横田	正
男山地区	興稲	佳穂
石城弓岡	山本	陽一
男山地区	飯塚	弘美
石城弓岡	竜田	倫花
男山地区	本庄	真悟
金振区	高橋	雅人
三区	堤	弘
四区	森田	千鶴
男山地区	桑原	尚徳
石城弓岡	杉本小百合	真一
竹園香呂	四本 みき	建二
三区	植本 照名	益男
男山地区	藤井 寛子	建
石城弓岡	槙垣 健介	良徳
二区	加賀城いづみ	敏明
男山地区	蔵原 一隆	弘美
二区	松田紗智子	隆
男山地区	正田 瑞穂	英美
竹園香呂	吉田 恵美	与一
三区	藤原 玲奈	和行
一区	村田 和代	敦子
四区	谷口 長	浩
三区	岩澤 幸子	徹男
一区	落合 摩子	勇
二区	堀 信行	隆志
石城弓岡	高野 春菜	正士
上区	繁柴 生子	功
二区	岡本 智	巧
四区	古藤田利子	伸男
二区	辻本 智宏	憲二
男山地区	藤本 幹人	茂美
四区	長尾 奈次	一幸
男山地